

第4章 東区具体的な交通施策

1. 計画期間における取組み

平成27年度から平成31年度に実施する主な取組みを示しています。

(1) 公共交通機関の連携強化

①越後石山駅（信越本線）

越後石山駅は、西口駅前広場の交通結節機能の維持増進を図るとともに、より利便性を高めるため、アクセス道路の整備や駅舎のバリアフリー化などについて、引き続き検討を進めます。

②東新潟駅（白新線）

東新潟駅は、タクシーの乗り入れスペースやロータリーなど一定の駅前広場が整備されていますが、より利便性を高めるため、路線バスの乗り入れについて関係者と協議します。

③大形駅（白新線）

大形駅は、新潟県立大学の最寄り駅であるものの、大学まで距離があるため、鉄道とバスの連携が求められています。利便性の向上に向けて、北口駅前広場の交通結節機能の維持増進を図り、大学と大形駅を結ぶ路線バスの運行、乗り入れについても、大学、交通事業者とともに検討します。

(2) 区内移動及び市中心部への移動に関する利便性の向上

①わかりやすく使いやすいバス路線網の再構築

BRT導入に伴う段階的なバス路線再編計画のなかで、区内の既存路線バスの運行便数や運行時刻の充実に向けて交通事業者と協議します。また、南北方向の路線の新設など、東区において誰もが快適に移動できるバス路線網の再構築について、交通事業者とともに検討し、必要に応じて交通結節点を整備します。

②区バスの運行

区バスの運行内容を段階的に見直し、利便性の向上を図ります。

③駅やバス停から離れた地域の利便性の向上に向けて検討

鉄道、路線バス、タクシー、区バス、住民バス^{※4}、デマンド交通^{※5}など多様な交通手段の中から、地域に合ったより良い移動方法を地域とともに考えます。

④バス利用環境の向上

バリアフリー車両やバスの位置情報検索システムの導入、待合環境の向上などについて交通事業者と協議し、バス利用環境の一層の向上に取り組めます。

⑤わかりやすい情報案内による公共交通の利用促進

運行時刻や路線、利用促進に向けた市の取り組みなどの情報をわかりやすく案内し、公共交通の利用促進に向けて、交通事業者と連携して取り組めます。

※4 住民バス…バス路線の廃止問題を抱える地区や駅やバス停から離れた地域において、地元住民組織が主体となって運営する乗合輸送サービス。

※5 デマンド交通…利用者の移動要望（電話予約等）に応じて、運行経路や時間を調整して効率的な運行計画を立て、柔軟な輸送を可能とする、バスやタクシーなどを利用した乗合型の交通システム。